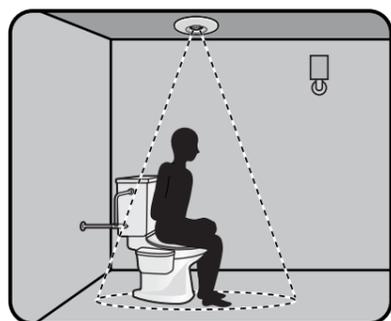


故障ではありません

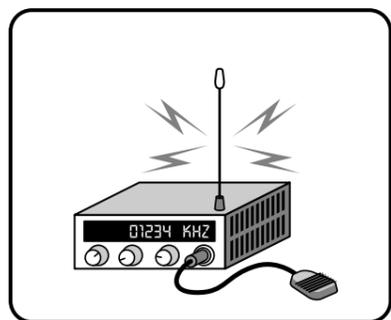
検知しない、検知感度が鈍い場合



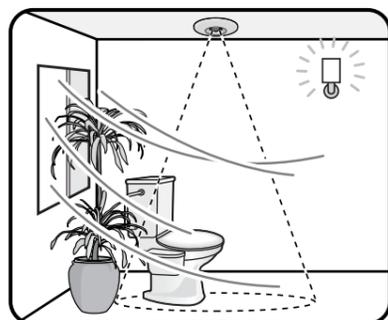
- 夏場など室温が体温に近づいたとき
- センサに向かってまっすぐ近づいたとき

- 人が静止しているとき
(検知動作速度0.3 m/s~1 m/s)

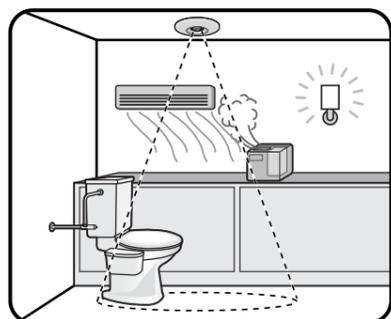
勝手に「ON」する場合



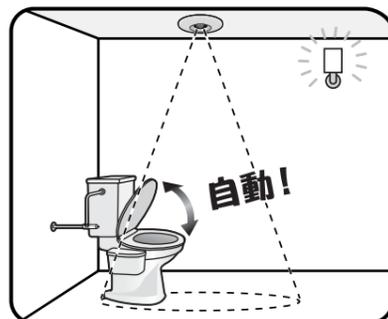
- 強力な電波、誘導雷サージなどの電氣的雑音を受けたとき



- ゆれる物を検知したとき



- エアコンの風など急激な温度変化を検知したとき



- 自動開閉便座など自動で動くものを検知したとき

- 加湿器などの蒸気を検知したとき

Panasonic®

取扱説明書

天井取付 熱線センサ付自動スイッチ 子器

(換気扇接続端子付・親器3系統連動形)
(換気扇300 W・検知後換気扇連続動作時間 約10秒~30分可変形)

2速換気扇接続端子付

品番 **WTK 2943K**

3 A 100 V AC

施工店様へのお願い この説明書は必ずお客様にお渡しください。

ご採用いただきありがとうございます。説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
この取扱説明書は大切に保管してください。

安全上のご注意 必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を見逃して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で説明しています。

⚠ 警告 …この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容を、次の絵表示で説明しています。



この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。



この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

⚠ 警告



必ず守る

換気扇のお手入れは、必ず内部の動作保持時間調整つまみを「切」にして行う
動作保持時間調整つまみを「切」にしないと、感電やけがのおそれがあります。



水ぬれ禁止

水をかけない 感電や火災の原因になります。

取り扱い上のご注意

■熱線センサの汚れは、柔らかい乾いた布で傷をつけないようにふき取ってください。
シンナー、アルカリ性洗剤、酸性洗剤、クレンザー、殺虫剤などは使用しないでください。故障の原因になります。

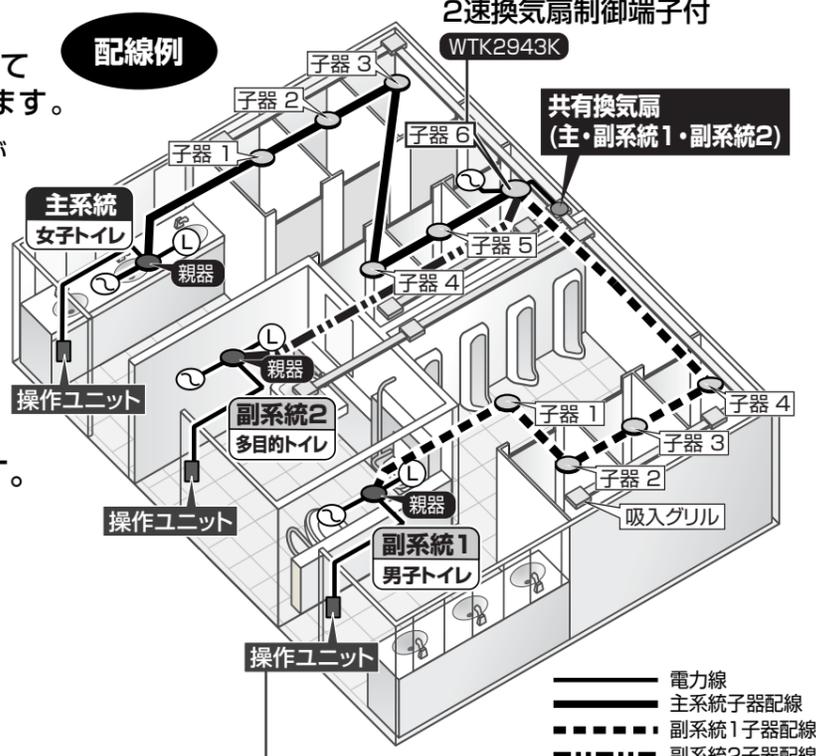
熱線センサ付自動スイッチについて

強弱切り替えの換気扇を制御します。
人の動きなどを検知して常時「弱」運転している換気扇が「強」運転に切り替わります。

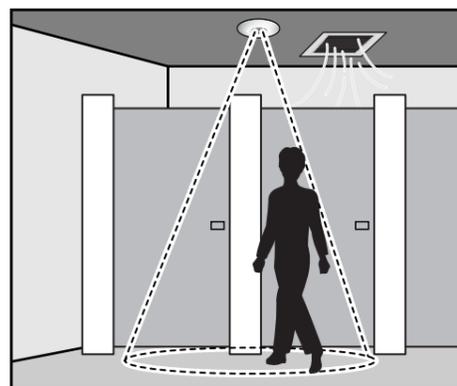
- 主系統と副系統1・2の親器と連動して「3箇所共有の換気扇」が制御できます。

主系統、副系統1・2のいずれかのセンサが検知すると、主系統の女子トイレ側に設置された共有換気扇が連動して動作（「弱」→「強」）します。

※換気扇をOFFにする場合は、動作保持時間調整つまみを「切」にしてください。



3℃以上の温度変化分を検知します。



このセンサが検知すると、主系統の照明が点灯します。副系統の親器には検知信号を送りませんので、副系統の照明は点灯しません。

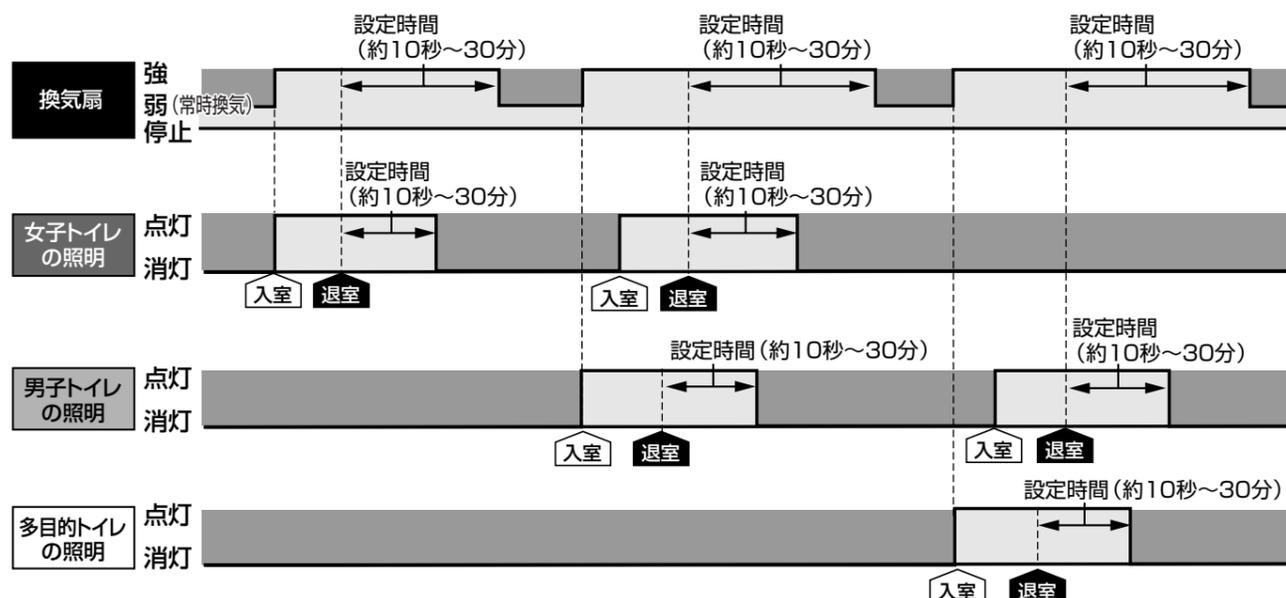
操作ユニットをご使用の場合

照明を手動で操作できます。

WTC5820W/F/G (別売)

切 常時OFF
自動 センサの動きにより自動でONまたはOFF
連続入 常時ON

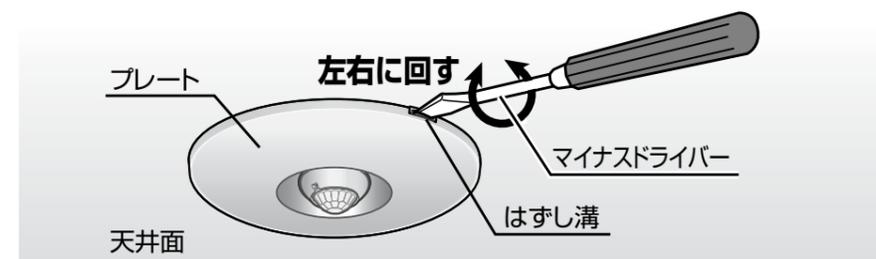
換気扇と照明の動作パターン



●周囲が明るく「親器」の明るさセンサが働いている場合、照明が消灯状態でも換気扇は明るさに関係なく動作します。

調整方法 (必要と思われたとき、調整してください。)

- プレートをはずして調整してください。



動作保持時間調整つまみ

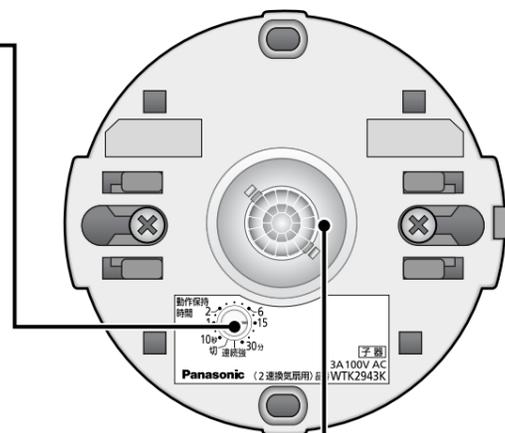
- 連続「強」「切」の切り替えができます。
- 「強」運転している時間が変えられます。

換気扇の動作保持時間は、親器の照明器具の動作保持時間より長めに設定してください。

(注) つまみは「カチッ」と止まる位置に合わせてください。クリック感のない中間位置では正しく時間設定できません。



※つまみの位置は目安です。



赤色ランプ
検知すると点滅します。

検知範囲が調整できます

専用フード(付属)を取り付けると検知範囲を狭くできます。



注) 天井の高さによって検知範囲が異なります。 (単位:m)

天井の高さ	2.4	3.2	4.2	5.2	5.7
検知範囲の設定目安高さ	1.7	2.5	3.5	4.5	5.0
検知範囲の大きさ	フード無し φ2.4	φ3.5	φ4.9	—	—
の大きさ	フード有り φ1.1	φ1.6	φ2.2	φ2.9	φ3.2

- センサを軽く指で押さえながら回して検知方向を調整してください。
- 手の動きが検知できるように、床より70cmの高さを目安にして、調整してください。
- 取り付け高さが高い場合には、専用フードを取り付けると検知範囲を狭くできます。

専用フードで狭くした場合の検知範囲

